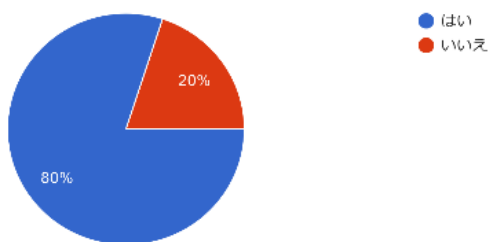


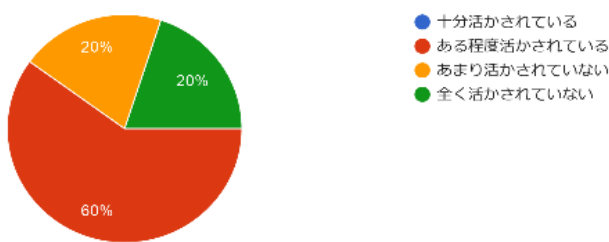
令和3年度実施 人間環境学部 卒業生アンケート結果
(平成30年度卒業生)

Q2. 入学時および在学中のことについてお聞きします。

①人間環境大学は第一志望でしたか。

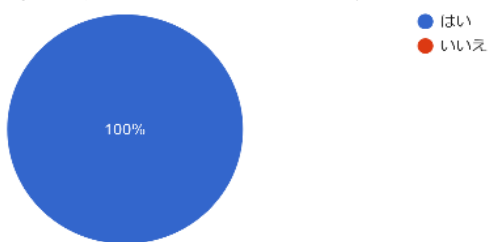


②本学で学んだ専門的な内容は、仕事に活かされていますか。

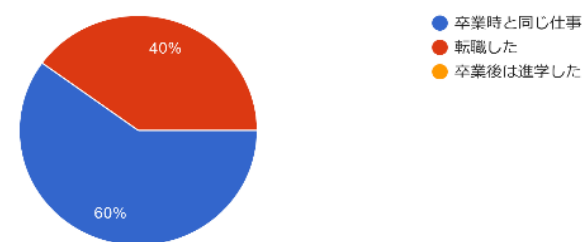


Q3. 現在のお仕事についてお聞きします。

①現在、お仕事をされていますか。

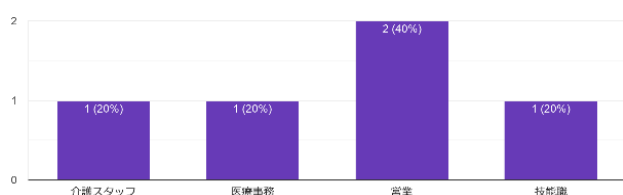


②①で「はい」を選択された方は、以下から一つ選んで下さい。

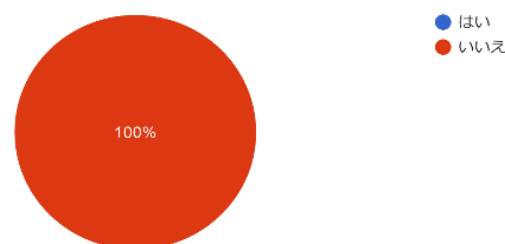


③現在の勤務先について、差し支えない範囲でご記入をお願いします。

(3) 職種名



(7) 後輩に今の会社を薦めますか



(8) (7)の理由をお答えください

- ・ 上下関係が難しい。
- ・ やむを得ず選んだ仕事なので
- ・ 業界自体がブラック
- ・ 常に利用者様の状態を把握しなければいけないため、気を抜くことができない。また、シフト制で生活のリズムが崩れやすいので、慣れるのに大変であるため。
- ・ 正社員登用がないからです。私は在学中のアルバイトで2年半、パートで1年半働き正社員登用されました。一応この辺りでは大手のドラッグストアですが、医療事務の正社員は全国に120人ほどしかいないため社員への負担が大きいのです。なので今後新卒採用があったとしてもあまり入社はお薦めできません。

Q4. 人間環境大学（特に就活指導について）および後輩に対して、ご自由にコメントをお書きください。

- ・ 自分がやってみたいと思う仕事をいくつか挙げてインターンシップに参加し、決めていく。納得がいくまで就職活動行ってください。
- ・ 私は就活もアルバイト先と同じ業界を考えていましたが、なかなか求人がありませんでした。自分だけ就活をしていない状況に焦り、大学4年の2月に妥協で受けた会社に内定をもらいましたが、自分のやりたい仕事を諦められず3月の研修期間中に内定辞退しました。卒業後はアルバイトをしていた会社でパートとして働き、1年半後に正社員登用され同時期に医療事務トレーナーになりました。私みたいに卒業後に夢が叶った人間もいるので、自分だけなかなか就職先が決まらず不安になったとしても、深刻に思いつめなくて大丈夫だと思います。

令和3年度実施 人間環境大学人間環境学部 卒業生アンケート 結果の分析

【実施期間】 令和3年9月51日～9月30日

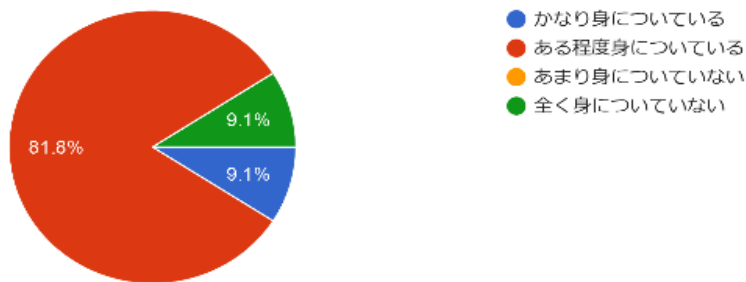
【調査対象者数】 5名/77名（回答率6.5%）

Q2. ①「人間環境大学は第一志望でしたか。」に対して「いいえ」と回答したのは5名中1名（20%）であった。また、Q2. ②「本学で学んだ専門的な内容は、仕事に活かされていますか。」に対して「ある程度活かされている」と回答したのは5名中3名（60%）であり、本学で修得した専門知識をおおむね仕事に活かすことができていることが分かる。しかし、残りの2名（40%）については「あまり活かされていない」「全く活かされていない」といった否定的な回答であった。これについては、人間環境学部の卒業生は広範な領域に就職していることから、現在の業務内容が学部学科の専門から多少離れているという可能性も考えられるが、大学での学びを社会に活かすための教育指導については今後さらなる改善が求められる。

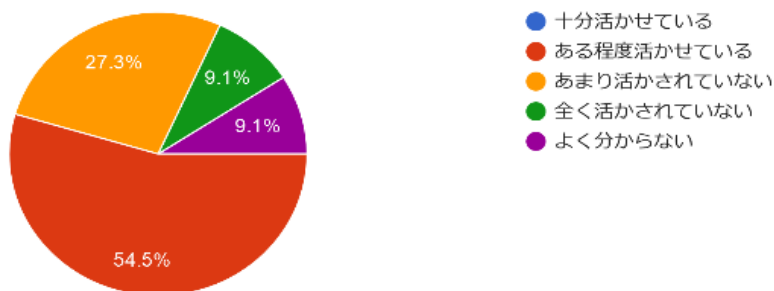
Q3. ①「現在、お仕事をされていますか」に対して「はい」と回答したのは5名（100%）であり、このうち、Q3. ②「卒業時と同じ仕事」に従事していると回答したのは3名（60%）であった。したがって、概ね学生本人の希望を叶えるための進路指導を実施することができていると考えられる。しかしながら、5名中2名（40%）は「転職した」と回答しており、これは必ずしも新卒時の就職先に満足していない者がいることを意味している。また、Q3. ③「後輩に今の会社を勧めますか」に対しては、回答者の5名全員が「いいえ」と回答していた。その理由としては、「上下関係が難しい」といった人間関係、「生活リズムが崩れやすい」といった業務の特性、雇用形態などが主であったが、中には「やむを得ず選んだ仕事なので」といった否定的な回答もみられた。これと関連して、「人間環境大学（特に就活指導について）および後輩に対するコメント」には、「自分がやってみたいと思う仕事をいくつか挙げてインターンシップに参加し、決めていく。納得がいくまで就職活動行ってください。」といった自由記述も得られた。これらの結果から、学生一人ひとりが自身の特性を存分に発揮できる領域への就職を実現するためにも、就職指導については今後さらなる改善が望まれる。

令和3年度実施 人間環境学部 就職先企業様アンケート結果

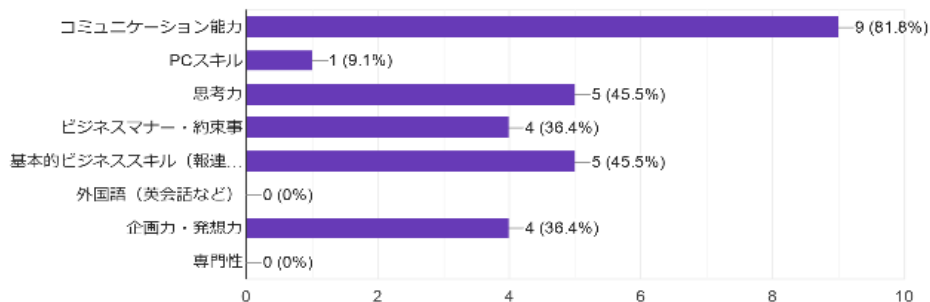
①本学の卒業生は、幅広い教養が身についていると思いますか。



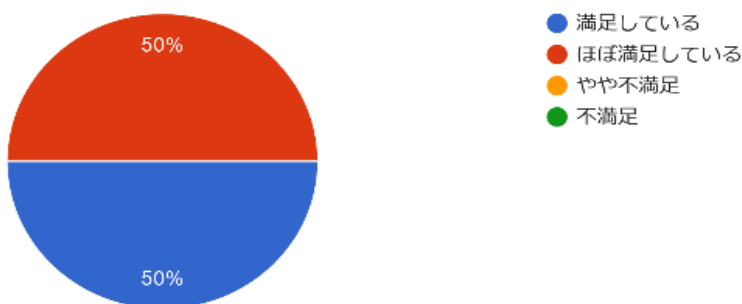
②本学の卒業生は、大学で学んだ専門的な内容を活かしていると思いますか。



③本学の卒業生が貴社の業務に貢献するためには、在学中にどのような能力を習得することが望ましいですか。



④本学の卒業生を採用について、どのように感じになっておりますか。



⑤本学の卒業生の配属先はどちらでしょうか。差し支えなければご記入ください。

- ・ 生産技術部
- ・ 入試・広報部 入試課
- ・ 豊川
- ・ 総務部 総務課
- ・ 試験技術員
- ・ 配属先：シルバーピアみどり苑 / 職種：介護職
- ・ 放課後等デイサービススカラしんでん（採用時の事業所名から変更させていただきました）

令和3年度実施 就職先企業様アンケート 結果の分析

【実施期間】 令和3年9月15日～9月30日

【調査対象社数】 11社/46社（回答率23.9%）

①「本学の卒業生は、幅広い教養が身についていると思いますか。」に対して、「かなり身についている」「ある程度身についている」と回答があったのは11社中10社（90.9%）であり、本学の卒業生が社会人として求められる教養を十分に修得していることがうかがえる。一方、②「本学の卒業生は、大学で学んだ専門的な内容を活かしていると思いますか。」に対して、「ある程度活かされている」と回答があったのは6社（54.5%）であり、「あまり活かされていない」「全く活かされていない」と回答があったのは4社（36.4%）であった。これらの結果から、大学において修得した専門的知識やスキルについても、おおむね業務に役立てることができているものと考えられる。しかしながら、否定的回答も一定数みられることから、大学での学びを社会に活かすための教育指導についてはさらなる改善が求められる。

③「本学の卒業生が貴社の業務に貢献するためには、…を修得することが望ましいですか。（複数回答可）」について、最も回答が多かったのは「コミュニケーション能力」であり、11社中9社（81.8%）より回答があった。これについては、今後改善することが望まれる。具体的には、主に実習や演習科目などにおいて、学生に対してディスカッションに積極的に参加するように促すことや、部活動・サークル活動、ボランティア活動などの課外活動の活性化も改善につながると考えられる。他にも、「思考力」「基本的ビジネススキル」については5社（45.5%）、「ビジネスマナー・約束事」、「企画力・発想力」については4社（36.4%）より回答があった。これらは、大きく①社会人として求められる基本的なスキル（「コミュニケーション能力」「基本的ビジネススキル」「ビジネスマナー・約束事」）と②業務に求められる思考力（「思考力」「企画力・発想力」）に分けることができる。この現状を今後の教育および就活指導に活かし、具体的に改善に取り組む必要があると考えられる。なお、「PCスキル」「専門性」については回答が0件であったことから、これらについては業務に貢献するために必要なスキルおよび専門性を修得することができているものと考えられる。

④「本学の卒業生の採用について、どのようにお感じになっておりますか。」については、回答のあった10社中10社（100%）より「満足している」「ほぼ満足している」との回答があり、高い満足度を維持していることが分かる。